

日華連 会報

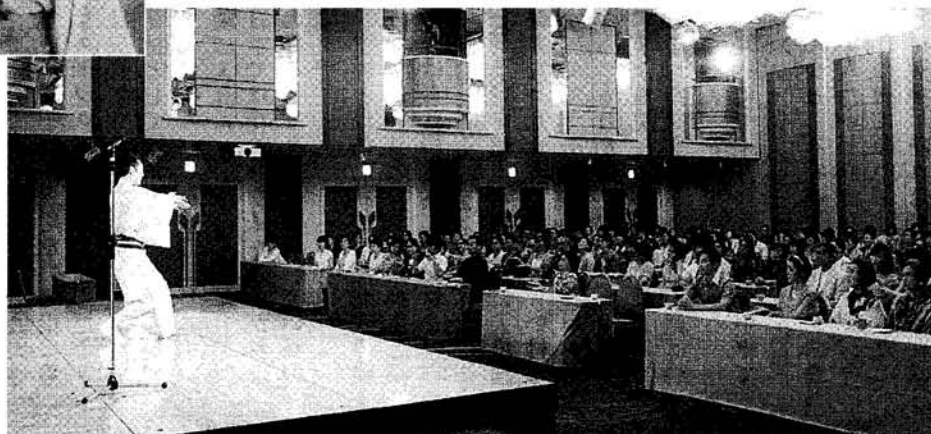
中日経済外書

第125号

華道大学講座 和を愛で華響を舞う



藤間信乃輔氏



会場風景

一般社団法人日本華道連盟

東京都新宿区百人町2-18-20 ☎03-3369-3769

発行人 塚越 応 鐘

編集人 渡邊 華 鳳

いけばな松風東京展

いけばな松風 山崎 応秀



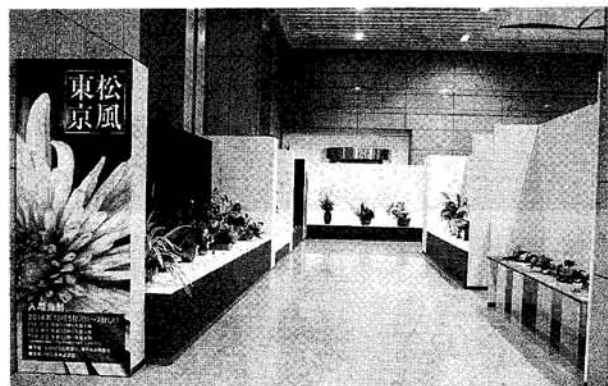
10月5日(日)～7日(火)
午前10時～午後5時
(最終日は午後4時)
新宿パークタワー
1階ギャラリールーム3

十月五日から三日間、新宿パークタワーにていけばな松風東京本部展を開催いたしました。

この華展は、毎月の研究会での勉強の成果を発表する場で、いい緊張感の中での生け込みは、お花そして自分と向き合う貴重な時間です。また、自分の作品と周りの作品とのバランスを考えながら、一体感のあるいけばな松風の世界をみんなで作りに上げていくという楽しい時間でもあります。

今回は、白と黒を基調としたシンプルなレイアウトに、ガラス器、陶器、吊り花、空き瓶と食器のコーナーを展開した会場です。家元、副家元をはじめ幹部会員の大作から普段使いの食器や空き瓶に生けた草花の小品まで、モダンで身近な暮らしの花を五十四作品展示いたしました。

台風十八号直撃というあいにくの天候でしたが、会場内は季節の花々で彩られ、足元の悪い中ご来



場くださったお客様にさわやかな初秋の訪れを感じていただけたようです。お客様からのお褒めの言葉や感想は、会員一同の励みになります。より洗練された華展を目指し、さらに精進していこうと思えます。

編集後記

暮れも押し迫ってまいりました。今年の華展は、八年間お世話になりました二子玉川高島屋から、新宿パークタワーに変わり、再出発の年となりました。心新たに、広々とした会場で、清々しくお華を生けることができました。

今号にも、たくさんのご投稿をいただきありがとうございます。

日華連の広報誌は皆さんの物です。小さな華展、催し物への参加等、何でも大歓迎です。

来年も皆様にとり、素敵な年になりますよう祈念申し上げます。

記録広報部 渡邊 華風

武井 美睦



一步前進する為に

常任理事 事務局長 井口理香



互いに和し、切磋琢磨を怠らずに邁進することだと思います。

私も微力ながら本部役員の皆様方に助けていただきながら少しでも前進していこうと思っております。

今後本連盟の趣旨に賛同いただき、各行事を通して新規加盟流派と会員が増し加わるよう魅力あるものとしていく所存です。

本連盟の発展と継続の為に皆様方の今まで以上のご協力を懇願して筆を置きます。

一般社団法人日本華道連盟による第十回「時代を彩るいけばな百華繚乱展」の会期も昨年同様、平成二十六年四月十日（金）より十三日（月）に確定しました。塚越理事長を中心に、役員及び加盟諸流派の代表者と会員が一致団結し協力し合って、昨年以上の成果を上げるべく準備が進行中です。

プラス思考で一步前進し、継続し続ける。つまり、発足当初の意志を正しく引き継ぎ、会員一同が



日本華道連盟と共に

常任理事 広報部長 渡邊華凰



日本華道連盟の皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

日本華道連盟に入会した時からの数々の思い出が浮かびます。

華展会場は京王プラザ・銀座のプラントン、玉川高島屋、そしてパークタワーと変わりました。第一回日の華展に参加したのは翠月古流では五名でした。私も二代目鈴木華園家元と共に出品いたしました。まだ誰もわからず誰一人として知る方はありませんでした。以来華展を重ねることに多くの先生方と親しくなりました。その後、お弟子と共に出品し現在に至っております。御殿場から華材運び、

お弟子と共に出品することは大変ですが、生けた後の充実感と技術も高まることから皆頑張っています。新年会、総会、幹部会、夏期講習会、国民文化祭、華展等多くの行事に参加し、他流派の方々と親睦を深めることができます。

企画部長の後、現在は広報部長をしておりますが、少なかつた記事が年々多くなりうれしく思います。まだ参加が少ない流派の方は原稿を送って下さい。お待ちしております。

私共翠月古流も来年は七十周年記念展を開催いたしますので、皆様よろしく願っています。

生涯にかけて歩んだ花の道、お弟子共々感謝しております。これからも日本の伝統文化を守り続けていきたいと切に思うこの頃です。

日華連の益々の発展を祈りながら、塚越理事長のリードのもと皆で努力してまいります。皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。「よりよき年をお迎えください。」

幹部会並びに華道大学講座

平成26年7月27日(日) 浅草ビューホテル

幹部会

午前十時三十分より井口理香常任理事(事務局長)の司会進行で幹部会が開始された。武井美恵副理事長の開会のことばの後、塚越応鐘理事長から「皆様おはようございます。本当に一番暑い日ですね。(中略)来年度第一番は華展です。来年も今年と同じ時期に新宿パークタワーで行いたいと思います。前回は皆さんのご協力のおかげで何とか上手くいったとお思います。もうひとつ、鹿児島での国民文化祭は、二回空いてしまいましたが参加する方向で進めています。経済的に厳しく参加する地方自治体がほとんどないため、鹿児島で最後になってしまっているのではないかと思います。」と挨拶があり、理事長議長のもと議事に入った。

- 一、二〇一五第十回時代を彩るいけばな百花繚乱展について
- ・場所 新宿パークタワー
- ・会期 平成二十七年四月十日

- (金) 十三日(月)前期と後期
- ・大きい作品コーナーを五カ所位設ける予定
- *前回の反省点
- ・北側パーク側正面玄関の風が強く作品に影響した
- ・車は地下四階の駐車場に止める



幹部会風景



- こと
- ・控室一カ所はほとんど使われていなかった
- ・C席は花席とのバランスを考え生ける
- 二、第三十回国民文化祭かごしま
- 二〇一五 研修旅行について
- ・平成二十七年十一月十四日(土)、十五日(日)鹿児島アリ
- ・一ナで華展
- ・研修旅行は十一月十三日(金) 十六日(月)の予定
- 行き先は検討中
- 三、平成二十七年年度事業計画について
- 一月十二日(月・祝) 監査会、第一回理事会
- 一月十八日(日) 総会と新年会
- 三月二十三日(月) 第十回華展説明会
- 第一回本部役員会
- 四月十日(金) 十三日(月) 百花繚乱展
- 五月十八日(月) 第二回本部役員会
- 五月三十日(土) 日華連会報発行
- 六月二十二日(月) 第三回本部役員会
- 七月二十六日(日) 幹部会
- 華道大学講座
- 十月十九日(月) 第四回本部役員会
- 十一月十三日(金) 十六日(月) 第三十回国民文化祭
- 研修旅行
- 十二月十四日(月) 第二回理事会
- 第五回本部役員会
- 十二月三十日(水) 日華連会報発行
- 四、その他
- ・広報から原稿の依頼
- ・長田先生から皆様の活動内容等をホームページアドレスに添付して送っていただきたいと依頼
- 八月九日、十日 塚越応鐘先生が増上寺で震災復興イベントに参加
- 九月十三日、十四日 華道創美華展
- 九月十四日、十五日 翠月古流学園祭
- 五、質疑応答
- ・華展会場の受付の場所が分かりにくかった↓検討
- ・外国のお客様が多かった↓英語にも対応できるよう検討
- ・来年の国民文化祭の片付けは熊本支部の方が対応

- こと
- ・控室一カ所はほとんど使われていなかった
- ・C席は花席とのバランスを考え生ける
- 二、第三十回国民文化祭かごしま
- 二〇一五 研修旅行について
- ・平成二十七年十一月十四日(土)、十五日(日)鹿児島アリ
- ・一ナで華展
- ・研修旅行は十一月十三日(金) 十六日(月)の予定
- 行き先は検討中
- 三、平成二十七年年度事業計画について
- 一月十二日(月・祝) 監査会、第一回理事会
- 一月十八日(日) 総会と新年会
- 三月二十三日(月) 第十回華展説明会
- 第一回本部役員会
- 四月十日(金) 十三日(月) 百花繚乱展
- 五月十八日(月) 第二回本部役員会
- 五月三十日(土) 日華連会報発行
- 六月二十二日(月) 第三回本部役員会
- 七月二十六日(日) 幹部会
- 華道大学講座
- 十月十九日(月) 第四回本部役員会
- 十一月十三日(金) 十六日(月) 第三十回国民文化祭
- 研修旅行
- 十二月十四日(月) 第二回理事会
- 第五回本部役員会
- 十二月三十日(水) 日華連会報発行
- 四、その他
- ・広報から原稿の依頼
- ・長田先生から皆様の活動内容等をホームページアドレスに添付して送っていただきたいと依頼
- 八月九日、十日 塚越応鐘先生が増上寺で震災復興イベントに参加
- 九月十三日、十四日 華道創美華展
- 九月十四日、十五日 翠月古流学園祭
- 五、質疑応答
- ・華展会場の受付の場所が分かりにくかった↓検討
- ・外国のお客様が多かった↓英語にも対応できるよう検討
- ・来年の国民文化祭の片付けは熊本支部の方が対応

最後に理事長総括があり、武井美恵副理事長の閉会のことばで終了した。

華道大学講座

華道大学は岡野闘華齋先生の司会のもと、開会のことばは武井美恵先生により開催されました。武井先生の挨拶が次のようにありました。「今日は『和を愛で花響を舞う』がテーマということで、世界的にご活躍の素晴らしい先生方です。心から感謝しながら拝聴させていただきます。」

次に塚越応鐘理事長の挨拶は「皆様こんにちは。暑い中にもかかわらず今日は満席です。主催者として大変うれしいことです。今日いらっしゃる舞踏家の藤間先生は金沢の出身で、私の住む群馬県とは姉妹都市です。過日観音山の中的名園、その池の中に舞台があり、水上で舞う先生がとても幻想的で素晴らしかった。また、応駿が花を生けた関係で友達となり、



今日来ていただくことができました。今日は全国的に活躍している津軽三味線の寂空先生の演奏も楽しみです。皆様集中して見ていただけるとありがたいです。暑い中ありがとうございました。」とありました。

そして藤間先生の講話と舞のスタートです。藤間先生の踊る長唄七福神は、江戸時代に芝居が無事に終わることを祈願してつくられた舞です。「踊りとは目に見えないものへの感謝の念と祈りの心だと思います。和・心・舞・伝統と、現在にはなれすぎているので、踊ることでそれが近づくと思います。念じること、思うことを舞台に出していきたいと思えます。本日はよろしくお願いたします。」との言葉があり、水色の紋付茶の袴できりとした舞を見せていただきました。

津軽三味線の寂空先生は、「素敵な会場で生で聞いていただく機会ができてうれしいです。細ざお、中ざお、太ざおの中でも今日は太ざおを使います。早びきのためバチが小さくべつ甲でできています。盲目の旅芸人が門づけ芸でお布施をもらいながらひきました。高橋竹山さんが代表的で



す。津軽は貧困をなげくもので、そのなげきを三味線にこめたいと思えます。」と津軽よされ節、津軽じんく、津軽おわら節等、力強く息つく間もなく演奏してくださいました。寂空先生は静岡県出身、今はアメリカ、ヨーロッパ、各方面でご活躍中とのことでした。お二人の共演は素晴らしい舞と演奏で時間が短く感じられました。最後に全員で舞の振りを体験してり



ラックスいたしました。古典をしっかり守りながらも二人の若々しい気合いを感じました。古典の中に新しい息吹を表現するお二人の先生。そして紹介して下さった応駿先生に感謝いたします。岡野理事の閉会のことばで終了となりました。

第7回花華展

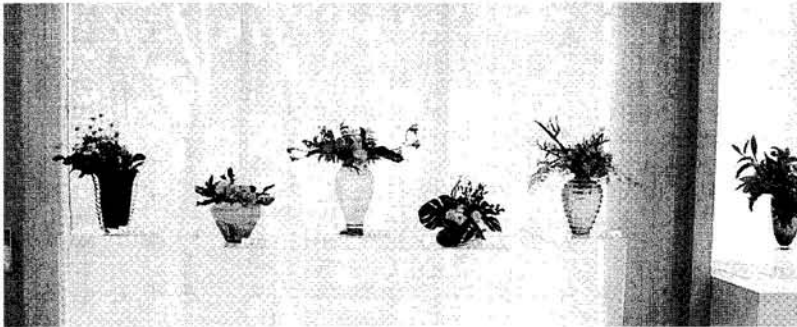
4月27日(日) ~ 30日(水)

高崎に本部を持ついけばな松風と東華古流の二流派展第七回花華展が、四月二十七日(日)から三十日(水)に当連盟名誉顧問中曾根康弘氏の記念館のある「青雲塾会館ホール」において開催されました。昨年に続いての青雲塾でしたが、天候にも恵まれ多くの来場者にお出かけたいただき好評でした。

▶加辺成久先生作品

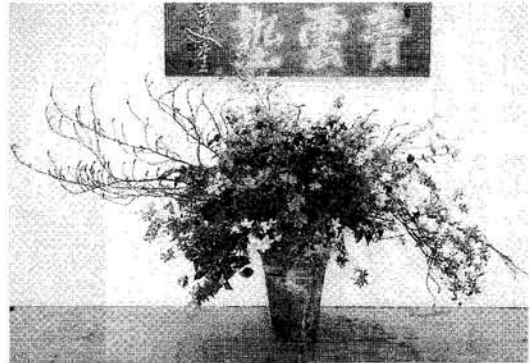
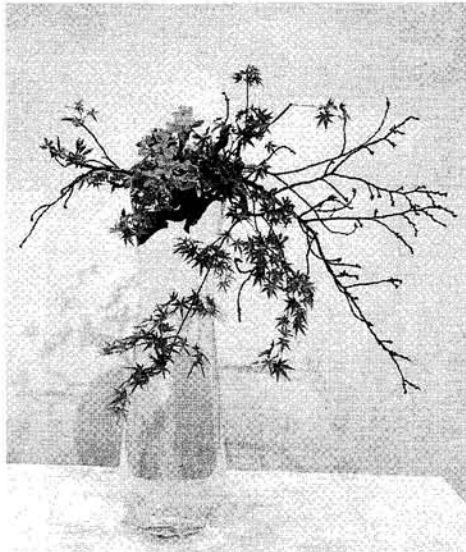


▼外の庭を借景に

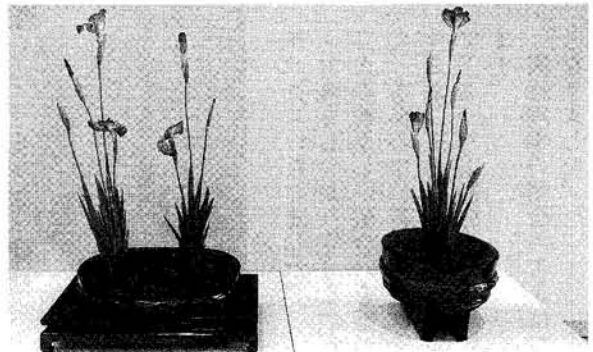


出瓶作品

▼塚越応鐘先生作品



◀玄關の迎え花



▲東華古流の菖蒲連作

子供達のいけばな教室

都古流美和会 武井 美恵

平成十四年から子供達の土曜休
日
が実施され、伝統文化のいけば
なのお勉強を始めることとなりま
した。当時当流の四十周年記念華
展（平成十四年五月）の際に体験
学習コーナーを開催しました。そ
の頃文科省の伝統文化教育事業と
していち早く指定を受けました。
現在は県から市教育委員会の事業
として毎年継続（月二回土曜日）
しています。

市内の国宝級の屋敷（旧林家宅）
でいけばなの勉強を行い十年とな



教室の様子

ります。玄関の屏風の前・各部屋の床の間・中床・洋間のテーブルの上などにお花を飾ります。と明るく輝き、ご覧くださる方が感激してください。静まっていたお部屋が一段と活気づくのを見るにつけ、「生け花のすばらしさ」を後世に伝えていくことの大切さを思います。

見学に来た小学四年の男の子が今月からおけいこにきました。小さな輪が少しずつ大きくなって、日本伝統のいけばなが子供達を通じて末永く続くことを深く祈っています。

第20回 いけばな松風 夏期集中講座

8月2日（土）・3日（日）
高崎ニューサンピア



▶民話



▲実技 縦型の花

▼絵手紙に挑戦



東日本復興応援いけばな展 つなげよう花の心3

8月9日(土)・10日(日)
増上寺

「つなげよう花の心3」は第一回の銀座、第二回の中野坂上に続いての開催。若手の家元、副家元など二十五人の参加により八月九日(土)・十日(日)に増上寺・光猷殿で開催されました。これはいけばな松風塚越応駿副家元が企画し、趣旨に賛同した華道家によって構成されています。



以下は塚越応駿先生ブログより転載

全く面識のない諸先生方に復興応援いけばな展の企画を持ち込んだのが三年前。主旨にご賛同いただき、共に作り上げてきた大切なイベントです。復興が終えるその日まで、想いを繋いでいきたいと強く願います。

講堂で行われたライブパフォーマンス。今回のパートナーは書家の白石雪妃さんと、パーカッショニストの山崎直人さん。



山崎直人
書家白石雪妃×
華道家塚越応駿×
パーカッショニスト

漢字一文字に対して一種、花をいける。最後に繋ぐという字にヒマワリを合わせ、復興への思いをこめました。

こちらはパフォーマンスの後のトークイベントの様。私が聞き手で、あぶくまカットフラワーの菅野さんと大田花きの磯村社長とお話をうかがいました。

原発の避難地域で4年ぶりにトルコキキョウを出荷された菅野さん。とても前向きなお話をお聞きし大変勇気づけられました。磯村社長の分かりやすく人を引き付けるトークに会場が大いに盛り上がりました。



トークイベント
塚越応駿 菅野陽平 磯村信夫

そして、イベントによるチャリティまたは入場料の売上で、毎年年末に東北の仮設住宅に出かけ花をいけていただくという活動を続けております。

参加者は池田理英・伊藤庭花・岩田瑠園・海野俊彦・榎本理鶴・大塚理司・大野理瞳・岡田広山・岡本雅甫・粕谷尚弘・工藤亜美・佐藤華専・澤井雅恵・白澤春草・

新藤華浩・千羽理芳・塚越応駿・西村一紗・バーネット秀抱・肥原慶甫・細川康秀・望月伸之輔・山田尚俊・横地画抱・吉村華洲(五十音順)

につぼんだあいすきてん

イン八芳園

「料亭「壺中庵」に花を添える」

古流香和会家元 井口 理香

平成二十六年八月二十三日(土)より二十九日(金)まで。

青柳窯当主で陶芸家の青柳政和氏の、釉薬を一切使用しない素朴で渋味のある重厚な質感の、世界に一点しかない貴重な陶器に生けさせていただきました。二十九日(金)午後五時に揚げ花を済ませ、池袋の東武百貨店に向かい東京都華道茶道連盟主催の「彩花展」に出品する作品を生けこみました。



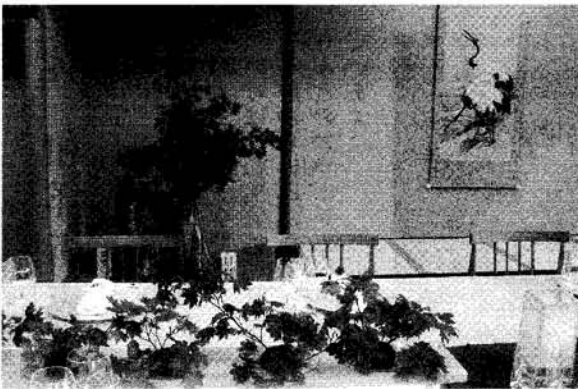
さらに、十月六日(月)に八芳園内の料亭「壺中庵」の玄関と松の間と藤の間に青柳氏の陶器で紅葉を生けてほしいとの依頼を受けました。翌日玄関で「凄〜い」の歓声が上がって大好評だったとの報告で安堵しました。



青柳政和(陶芸家・青柳窯当主)
井口理香(華道家・古流香和会家元)
コラボレーション作品展示
各フロア

たのしいことする。新聞

(平成26年8月22日付)

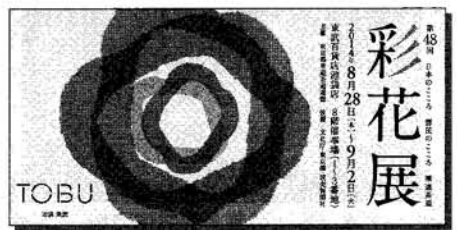


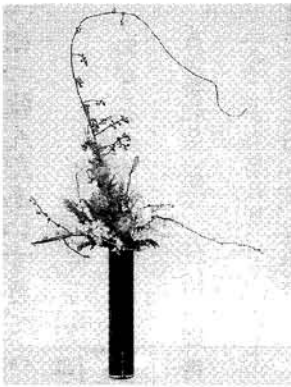
第48回 彩花展 日本のごころ・都民のごころ・華道茶道

8月28日(木)～9月2日(火)
東武百貨店池袋店 8階催事場(1～3番地)
主催：東京都華道茶道連盟
後援：文化庁・東京都・
読売新聞社



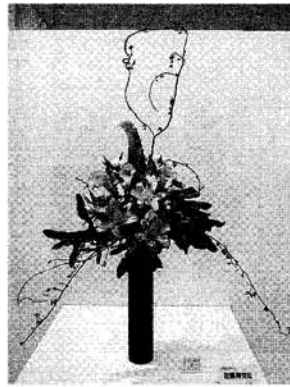
▶井口理香先生作品





8月28日(木)
きゅりあん
華道池坊寿美華流
岡本寿美奈

品川区華展



8月28日(木)
東武デパート
華道池坊寿美華流
佐藤寿美知

都連菜花展



▲左から 塚越応駿、fiola、fiola、
藤間信乃輔、fiola、fiola、
寂空-Jack-

第五回 悠久の魂 和洋折衷

九月十三日(土)、高崎市洞窟観音徳明園において第五回悠久の魂和洋折衷が開催されました。今年華道大学講座で講師をお願いした舞踏家藤間信乃輔さんの会で、高崎市金沢市友好交流都市協定締結記念後援として毎年開催されています。池の中で踊る「水

上の舞」は蠟燭の明かりに照らされ幻想的だと、入場制限を行うほどの人気イベントです。いけばな松風塚越応駿副家元は三年前からいけばなで参加、藤間さんのコラボレーションを続けています。



▲「水上の舞」藤間信乃輔



◀「いけばな」塚越応駿

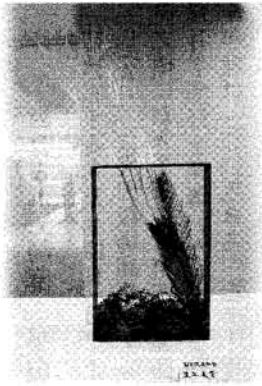
神奈川県華道展

池坊鳳秀流 長田 華鳳

九月三日（水）から九月八日（月）まで、横浜高島屋にて第六十五回神奈川県華道展が開催されました。入場者は六日間で二万七千名を超え、会場は連日超満員でした。日本華道連盟会員からは池坊鳳秀流の長田華鳳と、都古流美和会の生出美常氏が出瓶しました。



▶長田華鳳先生作品



▶生出美常先生作品

東海道シンポジウム

「藤沢宿場祭」

池坊鳳秀流 長田 華鳳



九月六日（土）、時宗総本山の遊行寺において藤沢宿場祭が開催され、長田華鳳が「いけばなパフォーマンス」に出演しました。十分で大作を生け、その後は楽しいトークショーを行いました。暑い中來場した数百名の観客は、一時間にも及ぶショーにもかかわらず最後には大喝采を浴び終了しました。

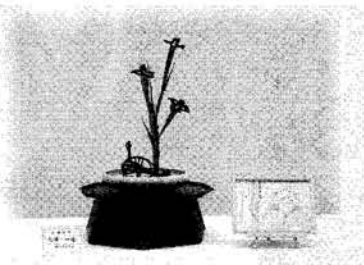
藤沢市芸術文化展

池坊鳳秀流 長田 華鳳

第三十五回藤沢市芸術文化展が藤沢市民ギャラリーにて十一月三日（月・祝）から十一月九日（日）まで開催され、池坊鳳秀流の長田華鳳と松煌古流の大澤一煌氏が出瓶しました。これは華道・絵画・書・写

画・書・写

▶大澤一煌先生作品



▶長田華鳳先生作品

真の作品を一堂に飾る展覧会で、來場された市民の方々はその格の高さに皆驚いていました。また、鈴木恒夫藤沢市長は前期、後期ともにおいでくださり、藤沢市の文化水準の高さに、「これからも藤沢市民のための文化活動を共に盛り上げていきましょう」というお言葉をいただきました。

いけばな展 秋澄花

華道創美家元 越川 裕巧

9月13日（土）・14日（日）
午前10時～午後8時
（最終日14日（日）は
午後4時30分まで）

会場：田無アスタ専門店街2Fセ
ンターコート
主催：華道創美

後援：一般社団法人日本華道連盟
協力：(有)富田生花店



第49回 翠月学園祭報告

翠月古流 阿部 華由

初秋感ずる九月十四日(日)・十五日(月)、会場御殿場高原ホテル時之栖におきまして、第四十九回翠月学園祭を開催いたしました。今年度は「和に生きる」をテーマに、お家元渡辺華風先生ご指導のもと、翠月古流華道展、翠月書道会展、御茶席、アール・ドゥ・スイゲツ展、フラワーコーディネート、日大食堂室伏ゼミプロジェクト「M」展、土に還る木・森づくりの会展、特別参加



(絵画) 展など各部門の皆様が日頃の成果を展示いたしました。翠月古流華道展では、お家元席におきまして、竹に秋の風情を表現され、秋草の可憐な姿が映し出されておりました。また、薄端席、月・花器席、舟・花器席、井戸席を設け、秋の情緒を華道先生方が表現いたしました。天候に恵まれ、大勢のご来場の皆様に初秋の一時を過ごしていただけましたことを嬉しく思います。

また、来年度は翠月古流七十年・翠月学園五十年を迎え、記念

展を開催する運びとなっており、会員一同心を引きしめ、記念展に向けさらに精進して参ります。最後になりますが、日本華道連盟の益々のご発展をご祈念申し上げます。翠月学園祭のご報告とさせていただきます。

いけばな松風 秩父支部展

10月25日(土)〜27日(月)
午前10時〜午後7時
(最終日は午後5時)
八尾百貨店5階大催事場

テーマ「野にあそぶ」は多くの観客に親しみをもって見ていただき、会員の励みとなりました。



野にあそぶ



第38回県民芸術祭参加 創立65周年記念
第65回群馬県華道展

群馬県華道協会理事 岡野闘華齋

10月24日(金)～27日(月) 午前10時～午後5時



第38回 県民芸術祭参加 群馬県華道協会 創立65周年記念
 平成26年度

第65回 群馬県華道展

平成二十六年十月二十四日(金)から二十七日(月)、群馬県庁県民ホール(北)において前期・後期二日間にわかれ三十二流派合計二六四名の作品が出版され、会場を秋色に染めました。

初日は六十五周年ということ、群馬県公益財団法人、群馬県教育文化事業団理事長・榛澤保男様、群馬県文化振興課長・飯塚欣彦様、そして群馬県華道協会名誉会長・中曽根弘文様の代理として真理子夫人、協会会長・三津間弘

にふさわしい盛り上がりを見せました。それと共に関係者はお客様方がどっと入場され、会場内は花との出会いを求める方達でいっぱいになりました。

今年の自由花席は全体が白で統一され、格花席はクリーム色で少し変化をつけ、対面する席の間隔もゆったりと同じに保たれて大変好評でした。こんな素晴らしい花席でいろいろな花材を手にし、作品を生み出す幸せに感謝しながら六十五年前に想いを馳せ、当時を

様によるオープニングテーブルが行われ、記念展



▲オープニングテープカット

知る先生にお伺いしてみました。その方がおっしゃいますには、花席はもちろん今のそれとは格段の差があり、花材調達もご主人の運転するスクーターに乗って採取しに行ったとのことでした。

このような発足当時から今日まで協会を支えてくださっている先生は、現在二名様だけとのことです。十二月には式典も行われませぬ。ぜひいろいろなお話をお聞きしたい。



▲前列右 岡野闘華齋群馬県華道協会副会長

いと願っております。

六十五周年記念華道展も流派の特徴ある花型が創意工夫で個性豊かに仕上げられ心温まる時を過ごさせていただきました。そしてその感動と感激の余韻を残しながら、四日間の花の共演に別れを告げ、六十六周年へと心を繋ぎ、前途に希望を託し閉会いたしました。

※日華連加盟流派はいけばな松風、遠州古流和松会、遠州秀月流、湖秀流、松月堂古流闘華、東華古流



▶中曽根弘文夫人・真理子様を案内する塚越応鐘群馬県華道協会会長代行

日華連の

歩みを

誇りたい

理事長

塚越 応 鐘



日本華道連盟のホームページがリニューアルされました。役員の方には活用の協力をお願いしておりますが一向に投稿がありません。予想はしておりましたが、現実を見せられると寂しい思いがします。見ていただけいていますか？

トップページには理事長挨拶、そして毎月更新されるおしらせ、新着情報、連盟の歩み、年間行事、活動報告、流派紹介、会報、作品紹介と情報が満載されておりま

す。リニューアルにあたり連盟の歩みの作成を担当させていただきました

した。一九六八年から、①華道文化向上発展②華道教授者の資質の向上③華道を通じての社会奉仕④華道による国際親善・文化交流という趣旨のもと、今日まで脈々と続いてきた連盟の歴史を懐かしく思い起こす時間をいただいたことを、嬉しく思います。

任意団体から社団法人への移行にあたり大変な苦勞をされた先輩たちのこと。

華道大学では多くジャンルから講師をお招きし、有意義な時間を過ごしました。延べ六十五名になります。皆さんの記憶に残った講演はいくつになりますか？

日華展も何回か会場が変わることはありましたが、毎年続いてきました。第三回から十三回まで続いた小田急グラウンドギヤラリーでの大華展、プラランタンに移るまでの新宿京王プラザホテル・プラザナードの二年間。プラランタン側の要望で劇的にな変わった会場構成。そして玉川高島屋での八回と走馬灯のように思い出されます。

また海外への観光旅行が一般化した今、楽しみ方は人それぞれ。海外華道使節団として各国を訪問する機会を得た私にとって、「いけばな」という視点からその国々を見るのができたと思います。ストックホルムでは緑化保護と

いうことから、花屋さんでも枝ものがなかなか手に入らず、大作のパフォーマンスを予定していたため困っていました。すると、関係者の女性が六十キロも離れた別荘まで車で案内してくださり、そこで十分な枝を切らせていただきました。それを乗用車の屋根に乗せストックホルムまで運んだことは忘れません。またある市場では、花材として買ったものが目の前で二つに折られ、無造作にビニール袋に入れられて手渡されました。日本では花材のウイキョウが料理の臭みとりとして売られていたのです。

ずっと以前に訪問した北京の検疫で、斑入りのハランを病気と決めつけられ持ち込んだ花材をすべて焼却処分されそうになったこと。予想を超える観客数に入場制限となった台北での華展。いけばな紹介でデモンストラーションをするつもりが逆にアレンジメントの実演を見せられ受講生にされてしまったブタベスト。思い出はつきません。

偶然にも正月のテレビ生中継で見たフィレンツェの共和国広場、こんなところでパフォーマンスをしてみたいと願ったのですが、その年の内に願いが叶い実現したと。数多く訪れた海外でも心に残

る体験でした。

歴史の深い大理石の建造物や敷石の空間、強烈な異文化に触れつつ、自国の文化を表現するという厳肅な感覚でいけばなパフォーマンスが始まりました。現地調達のバージンオイルの素焼きの大壺は、水漏れチェックをお願いしてあったにも関わらず途中から床の色が変わるほど漏れ出し、か細いオリブの枝は冷たい風に煽られスリル満点。いつの間にか集まった大勢の観客は真剣な眼差しで見てくださいました。お世話してくださった美大の教授からは「あなたはマイスター」と最高の賛辞をいただき、私のたすき姿が気に入ったと同僚の教授には実演時のクロッキーをいただきました。

アートカフェで行われた華展とパーティでは、様々な質問に答えながら、長い伝統に裏付けられたものの強みを感じることができました。

単なる観光旅行では得られない経験ができるのも華道のおかげ、これからも国内外にかかわらず「いけばな」を紹介する場と多くの人々の出会いがあることを願っています。

今年の国民文化祭は鹿児島で開催されます。皆さんの参加を期待しております。